

氏名	星 文彦	部署	理学療法学科	職名	教授
研究分野	中枢神経障害理学療法、発達運動学、姿勢制御				
学位	博士（障害科学）、教育学修士				
学歴	1977年 東京都立府中リハビリテーション学院、1988年明星大学人文学部心理教育学科、1994年北海道教育大学大学院修士課程教育学研究科、2003年東北大学大学院医学研究科後期課程障害科学専攻				
経歴	1977年東京都立府中病院・リハビリテーション科・主事、1980年東北大学医学部附属病院鳴子分院・理学療法部・文部技官、1983年北海道大学医療技術短期大学部・理学療法学科・助手、1992年医療法人勉仁会東小樽病院・理学診療科・科長、1992年北海道大学医療技術短期大学部・理学療法学科・非常勤講師（1994年3月まで）、1994年北海道大学医療技術短期大学部・理学療法学科・助手、1997年北海道大学医療技術短期大学部・理学療法学科・助教授、1999年東北文化学園大学医療福祉学部リハビリテーション学科・教授、2003年東北文化学園大学大学院健康社会システム研究科健康福祉専攻・教授、2007年埼玉県立大学保健医療福祉学部理学療法学科・教授、2007年東北文化学園大学医療福祉学部リハビリテーション学科・非常勤講師(2011年まで) 2009年埼玉県立大学大学院保健医療福祉学研究科保健医療福祉学専攻・教授、2011年埼玉県立大学保健医療福祉学部理学療法学科・学科長、2015年埼玉県立大学 地域産学連携センター・所長、2015年埼玉県立大学大学院保健医療福祉学研究科保健医療福祉学専攻（後期課程）・教授				
所属学会（役職）	日本リハビリテーション医学会、日本理学療法士協会（基礎学会、神経学会）、JSEK（評議員）、ISEK、ISPGR、専門リハビリテーション研究会（監事）、全国大学理学療法教育研究会（評議員）、日本早期認知症学会				

【2019年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	モーターコントロール 研究室から臨床実践へ 原著第5版 翻訳	共著	あり	医歯薬出版	田中繁、蜂須賀研二監訳、中谷敬明、渡部一郎、田中麻子、谷浩明、新小田幸一、星文彦、他	2020/3
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	歩行開始における高齢者の体幹運動特性	共著	あり	理学療法科学35, 3, 1-5,	大沼亮、星文彦、松田雅弘、神野哲也	2020/3
2	Characteristics of balance ability related to life space of older adults in a day care center	共著	あり	Congent Medicine, 1-13,	Yuki Echizenta, Kazunori Akizuki, Haruka Takayama, Ken Nishihara, Fumihiko Hoshi	2020/1
3	Utility of Dynamic Balance Measurements in Discrimination Community Ambulation Levels Among Individuals with Sytroke: A Cross-	共著	あり	Journal of Stroke and Cerebrovascular Diseases,online 11 January, 104603	Hideyuki Tashiro, Takuya Isho, Takanori, Takeda, Takahito Nakamura, Naoki Kozuka, Fumihiko Hoshi	2020/1
4	高齢者におけるTimed up & Go testの動作パターンの違いからみたバランス能力の差	共著	あり	北海道理学療法 36	筒井隆裕、城戸里実、石井琴美、村山奈菜香、星文彦	2019/6
5	Life-Space Mobility and Relevant Factors in Community-dwelling Individuals with Stroke in Japan: A Cross-sectional Study.	共著	あり	Progress in Rehabilitation Medicine, Vol.4, 20190014	H. Tashiro, T. Isho, T. Takeda, T. Nakamura, N. Kozuka, F. Hoshi.	2019/11
6	理学療法士養成課程における身体運動力学教育の現状：	共著	あり	専門リハビリテーション、18,57-59、	国分貴徳、金村尚彦、星 文彦、	2019/6
7	全体像を捉えるための理学療法の考え方：	単著	なし	P Tジャーナル、5 3, 5, 461-467、	星 文彦、	2019/5
8	脳卒中者の歩行開始動作における運動学的・運動力学的・生理学的分析	共著	あり	理学療法—臨床・研究・教育、26,36-41、	佐藤博文、星文彦、西原賢、大熊克信、額田俊助、石田岳史	2019/3

9	Quantification of trunk segmental coordination and head stability in laterally unstable sitting identifies aging and cerebellar ataxia	共著	あり	J, Clinical Biomechanics 63,127-133.	Koshiro Haruyama, Kenji Kasai, Ryouhei Makino, Fumihiko Hoshi, Ken Nishihara	2019/3
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共		学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	Slower reactive turning while walking in older adults: An association with cognitive-motion function :	共同		2019 ISPGR World Congress, 1 - 4 July, Edinburgh International	T. Nakamura, T. Higuchi, T. Kikumoto, F. Hoshi.	2019年7月
2	歩行中方向転換動作の反応遅延と認知-運動機能の関連性について	共同		第20回日本早期認知症学会、岐阜	星文彦、中村高仁、菊本東陽、大沼亮、丹波匠太郎	2019年10月
3	歩行適応現象の評価指標の検討	共同		第28回埼玉県理学療法学会、大宮	菊本東陽、星文彦	2020年1月
4	当院回復期リハビリテーション病棟における退院時運動FIMの予後予測の検討	共同		リハビリテーション・ケア合同研究大会 金沢	広瀬亜子 相澤健大 高橋雅俊 中川智徳 久保田和宏 星文彦	2019年 11月21-22日
5	超高齢社会を担う小学生の意識調査と学習支援（第2報）	共同		リハビリテーション・ケア合同研究大会 金沢	佐々木智弘 佐藤郁美 高橋雅俊 中川智徳 星文彦	2019年 11月21-22日
(4) その他						
	名称	単・共		発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	該当なし					
2						
3						
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称			研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	科学研究費補助金研究（基礎研究（C）（一般））			歩行中の方向転換課題新しい題における認知症者の予期的姿勢制御障害に関する研究	研究代表者	2018-2020
2						
3						
3. 教育業績						
(1) 講義						
	講義の名称	科目責任者		コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	理学療法学概論	○		11	理学療法について、障害の捉え方、定義、実践の紹介しながら、理解を深める様に教授した。手法として、映画鑑賞、KJ法によるグループワーク、レポート課題なども用いた。	
2	運動学入門			10	形態計測、関節可動域計測、姿勢の描写、動作観察、ハンドリングについて演習と交え教授した。	
3	神経障害理学療法学			5	中枢神経疾患に対する理学療法の一般的理論の変遷と脳卒中回復期及び失調症に対するアプローチの理論を教授した。	
4	発達障害理学療法学			5	小児疾患に対する理学療法における発達のアプローチの理論を教授した。	
5	運動制御と運動学習	○		15	運動制御理論、特に姿勢制御について研究文献抄読を通して議論した。	
6	社会構想論			1	大学の地域産学連携センターの立場から、社会貢献事業について解説した。	
7	緩和ケア総論			1	緩和ケアにおけるリハビリテーションの概念について解説した。	

8	運動解析学特論	○	7	運動解析学の理論を運動学、運動力学、生体活動の観点から解説をした。
9	理学療法症候障害論		3	疾病の症候学に基づく障害構造についてシステム論の視点から解説した。
(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)
1	神経障害理学療法実践フェューリアル		14	脳卒中に関するペーパーptで評価と治療についてグループワークを行った。
2	発達障害理学療法実践フェューリアル		6	小児疾患 (脳性麻痺、筋ジストロフィー) に関するペーパーptで評価と治療についてグループワークを行った。
3	リハビリテーション学演習	○	14	学生の研究テーマに沿って、運動解析学の手法を解説演習をした。
4	理学療法症候障害論演習		6	疾病の症候学と機能障害の関係を基盤に文献抄読を通して理学療法評価学の理解を深めた。
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)
1	神経診断学実習		12	神経症候学に基づき、理学療法に関連する検査について運動麻痺や姿勢障害、不随運動等についてグループワークと実習を通して理解を深めた。
2	神経障害理学療法学実習	○	10	脳卒中及び失調症に対する運動療法の実際を動画教材の視聴及び学生間で実習を行った。
3	発達障害理学療法学実習	○	10	脳性麻痺に対する運動療法の実際を動画教材の視聴及び学生間で実習を行った。
4	臨床実習Ⅰ		2020.2-3	検査測定実習について指導した。理学療法評価について、施設訪問を通して指導した。理学療法の総合的実践を病院へ訪問を通して指導した。
5	臨床実習Ⅱ		2019.9-10	検査測定実習について指導した。理学療法評価について、施設訪問を通して指導した。理学療法の総合的実践を病院へ訪問を通して指導した。
6	臨床実習Ⅲ		2019.4-6	検査測定実習について指導した。理学療法評価について、施設訪問を通して指導した。理学療法の総合的実践を病院へ訪問を通して指導した。
7	臨床実習Ⅳ		2019.6-7	検査測定実習について指導した。理学療法評価について、施設訪問を通して指導した。理学療法の総合的実践を病院へ訪問を通して指導した。
8	IPW実習		2019.9	1グループ担当 (国立病院機構東埼玉病院)
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2019.4-2020.3	主指導 3名	副指導 名
2			主指導 (指導教員) 名	副指導 (指導補助教員) 名
3			主指導 (指導教員) 名	副指導 (指導補助教員) 名
(5) その他				
	名称	期間	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)	
1	該当なし			
2				
3				

4. 社会貢献活動			
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師			
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ
1	平成30年度臨床実習指導者講習会	埼玉県立大学理学療法学科	バランス評価とハンドリング
2	生涯運動発達と老化	放送大学埼玉学習センター	講義
3	埼玉県立大学20周年記念理学療法学科卒業生勉強会	埼玉県立大学理学療法学科	障害モデルと理学療法
4	埼玉県理学療法士会研修会	埼玉県理学療法士会	中枢神経疾患の障害構造と理学療法～病態運動学の視点から～
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等			
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称	任期
1	越谷市生涯学習審議会	会長	2020/6/30まで
2	埼玉県健康関連サービス産業会議	委員	2020/3/31まで
3	社会保険診療報酬支払基金埼玉支部幹事会	幹事	2020/8/31まで
4	学校法人四徳学園長野保健医療大学大学院設置準備委員会	委員	2020/3/31まで
(3) ジャーナリズムでの発言			
	メディア等の名称	内容	年月
1	該当なし		
2			
3			
(4) その他			
	項目	相手方等	内容
1	該当なし		
2			
3			
5. 学内運営			
	項目	内容	期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	地域産学連携委員会	2018/4～2020/3
2	全学的委員会及びセンター業務等	教育研究審議会	2018/4～2020/3
3	全学的委員会及びセンター業務等	研究推進委員会	2018/4～2020/3
4	全学的委員会及びセンター業務等	教員人事委員会	2018/4～2020/3
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の取得			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			